

令和4年第6回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和4年6月29日(水)

開会 13時30分

閉会 14時15分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(6名)

| | |
|---------|---------|
| 教 育 長 | 野 口 弘 |
| 教 育 委 員 | 田 邊 俊 治 |
| 〃 | 大 島 淳 光 |
| 〃 | 木 村 陽 子 |
| 〃 | 長 澤 裕 子 |
| 〃 | 櫻 吉 啓 介 |

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

事務局

教育次長
担当次長(兼)教育総務課長
担当次長(兼)学校職員課長
学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐
担当次長(兼)学校指導課長
学校指導課担当課長(兼)課長補佐
市立工業高校事務局長
担当次長(兼)生涯学習課長
図書館総務課長
(兼)玉川図書館長
(兼)玉川図書館近世史料館長
(兼)玉川図書館城北分館長
教育プラザ総括施設長
(併)こども相談センター所長
学校教育センター所長

上 寺 武 志
堀 場 喜一郎
中 村 健 一
外 川 奨
地 下 雅 志
藤 尾 裕
長谷川 智 朗
安 宅 英 一
岩 井 隆 之

今 寺 誠

熊 谷 有紀子

5 案 件

| | | |
|----------|--|----------|
| 議案第18号 | 次期「金沢子どもを育む行動計画」の策定について | (教育総務課) |
| 議案第19号 | 金沢市図書館の開館時間の変更等について | (図書館総務課) |
| 報告第20号 | 令和4年度金沢市教員採用候補者選考試験の申込状況について | (学校職員課) |
| 報告第21号 | 金沢市立学校における新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について | (学校指導課) |
| 報告第22号 | 金沢市家庭教育推進プログラムの策定について | (生涯学習課) |
| 非 報告第23号 | 金沢市子どもを育む行動推進委員会委員の委嘱等について | (教育総務課) |

そ の 他

(1) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者3名について協議し、傍聴を許可した。次に、会議録署名員に長澤委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が報告第23号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第18号、議案第19号、報告第20号、報告第21号、報告第22号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、7月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に報告第23号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

＊ 7月の定例会議の日程：令和4年7月27日（水）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 議案第18号 次期「金沢子どもを育む行動計画」の策定について（教育総務課）

（説明の概要）議案書2ページ。金沢子どもを育む行動計画は、「金沢子ども条例」に基づき、子供の育成に関し、家庭や地域、企業などの各主体がどのように行動していくかの理念を取りまとめたものである。現行の計画が本年度末をもって終了することから次期計画の策定を図りたいと考えている。

次期計画の期間は令和5年度～令和9年度の5年間で、推進委員はPTAや地域、企業、NPO法人など子供の育成に関わる団体・組織の代表を中心に構成している。今後、推進委員会を3回程度開催するとともに、分野ごとの課題を整理するためにワーキンググループを設置し、時代の新たな変化や課題に対応した子供の育成に向けた取り組みについて議論を深めたい。

長澤委員

「子供を取り巻く社会環境の変化等に対応するため」とありますが、「社会環境の変化等」とは具体的にこういったものを捉えておられるのでしょうか。

堀場教育総務課長

私どもが考えている課題としては、家庭、地域、企業、学校、行政それぞれの共通課題として、ICT化の有効活用や子供の安全確保、新型コロナウイルスとの共存を見据えた社会変容への対応などを捉えています。

具体的な課題としては、家庭におきましては、例えばさまざまな事情を抱えたご家庭が最近は特に多くなっていますのでそういった保護者の方へのアプローチの仕方、そして家庭でのデジタル機器の適正な使い方などが課題ではないかと捉えています。地域におきましては、コロナの影響によって地域での学びや成長の機会が失われているのではないかという声も寄せられています。企業におきましては、労働者の方々の働き方改革に対する対応なども課題と聞いています。そういったものを今回議論を深めることによって、新たな計画を策定したいと考えています。

野口教育長

「次期」と名称に付いているのですが、「次期」というのは何期目になるのですか。

堀場教育総務課長

本市では平成15年度より第1次の行動計画を策定し、取り組みを進めているところです。「次期」とは「第5次」に当たります。

櫻吉委員

「金沢子どもを育む行動計画」は具体的にどのような場面で使っているのですか。

堀場教育総務課長

この計画は、子供を育ていくために大人の責務にはどのようなものがあるのか、それぞれの場面で理念的に取りまとめたものです。現計画の内容を少しご紹介しますと、例えば家庭においては子供を理解するとか、社会で生きる力を養うとか、地域では大人と子供が互いに知り合うこと、学校においては幼稚園、保育所、認定こども園等の行動指針との連携を図っていくことなどが定められています。

そういった計画を策定した趣旨やそれぞれの場面における行動指針を取りまとめた冊子を毎年、新小学校1年生の保護者の方に、就学前の健康診断時に配布しているほか、公民館や企業等にもお配りして、子供を育む考え方を周知させていただいています。また毎年1回、推進委員が一堂に会して、それぞれの団体での取り組み状況を報告し合ったり、取り組み内容について意見を述べ合ったりする場を設けています。参考までに昨年度は、コロナ禍におけるそれぞれの団体での子育ての取り組みの工夫、子供のデジタル機器の活用の在り方などについて議論を深めたところです。

田邊委員

第5次が次期ということなのですが、これまで5年サイクルで4期まで来たと思います。その間の行動計画の取り組みの中身も変わってきていると思うのですが、これまでの取り組みの浸透状況や、社会環境が変化したという状況を踏まえて、新しい行動計画をつくるという段取りだと思います。今の社会環境に関する状況把握として、例えば意識調査のようなことが行動計画を策定される際に予定されているのかどうか。これまでの成果の確認と、いろいろな意味で変わってきている社会環境をどう捉えるのか。そういうことを踏まえて次の行動計画を立てることになると思うのですが、どのような想定が現在なされているのでしょうか。

堀場教育総務課長

現行計画を策定した際には、金沢21世紀美術館においてフォーラムを開催し、多くの方々から意見を聞く機会をつくりました。その中で、金沢市が考える子育ての考え方なども併せて説明しています。

今回、次期計画を改定するに当たっては、それぞれの専門分野の方でワーキンググループを設置したいと思っています。ワーキンググループを3回ほど開催する中で意見を取りまとめ、委員の方々による委員会で行動計画の取りまとめを行っていきたいと考えています。

また、先ほども長澤委員からどんな課題があるかというお問い合わせもあったのですが、国において先般、「子ども基本法」が制定され、令和5年4月から施行される見込みとなっています。子ども基本法に定められている理念や目的、責務といったものも次期行動計画に取り入れて、例えば意見表明権をはじめとする子どもの権利などの保障、また誰一人取り残さず健やかな成長を図ることを目指すことなどについても次期計画に取り込んでいきたいと考えています。

○ 議案第19号 金沢市図書館の開館時間の変更等について（図書館総務課）

（説明の概要）議案書4ページ。金沢市図書館規則の規定により、夏休み期間中の図書館の開館時間を繰り上げ、これに伴い玉川図書館および玉川こども図書館の駐車場の入場時間を変更する。

変更は、夏休み期間中、児童生徒の図書館利用を促進し、子ども読書の推進を図ることが目的で、午前10時の開館時間を30分繰り上げ、午前9時半とする。これに合わせて、玉川図書館および玉川こども図書館について駐車場の入場時間を30分繰り上げ、午前9時とする。なお、他館の駐車場についても、図書館の開館時間の繰り上げに合わせて入場時間は同様に早くなる。これら変更の実施期間は令和4年7月21日（木）～8月31日（水）までとし、玉川図書館を

はじめ各館で実施する。なお、玉川図書館城北分館は城北児童会館との複合施設であり、通年で9時30分開館となっているため変更はない。

（特になし）

○ 報告第20号 令和4年度金沢市教員採用候補者選考試験の申込状況について（学校職員課）（説明の概要）議案書6ページ。今年度は工業の機械、建築、土木の3区分でそれぞれ若干名の採用を予定している。申込者は機械2名、建築1名、土木1名の計4名である。第1次試験は、7月2日（土）に市立工業高等学校で行う。試験科目は教養試験、専門試験、適性検査、集団面接、教科実技である。第1次試験の可否は8月上旬、受験者全員に郵送で通知するとともに、市のホームページでも合格者の受験番号を掲載する。

大島委員

本年度も採用予定者は若干名となっていますが、それに対する申込者数はどんなものなのでしょう。例年どおりでしょうか、やや少ないのでしょうか。

中村学校職員課長

この話が出るたびに毎回苦慮しているというお話は教育委員の皆さんにもお伝えしているところです。ちなみに令和2年度は工業で2名、3年度は工業で3名でした。常に「若干名の募集」としか書いてありませんので条件は同じなのですが、今年は4名ということで、1名ずつは増えてはいるのですが、県の工業系の倍率を見てもやはり2倍を超えない状況が続いているので、自分たちとしては何とかこの4人の中に専門性の高い方がいらっしゃることを信じて試験に臨みたいと思っています。

長澤委員

受付方法が記載されているのですが、これは受付に関して何か指定があるのでしょうか。

中村学校職員課長

これも以前お話ししたと思いますが、今までは郵送のみで募集受付をしていたのですが、今年度からはメールを使つての申込申請もできるようにしたので、その方が1名いらっしゃるという意味で記載しています。

長澤委員

新たにそのようなアプライ方法をこちらで設定した結果という理解でいいですか。

中村学校職員課長

そうです。

長澤委員

申請しやすくすることは良いことだと思いますので、今後もこの方法を取り入れていただければと思います。

中村学校職員課長

また来年度も続けていこうと思います。

櫻吉委員

昨年も同じ質問をしたのですが、応募者を増やすために幾つか工夫されているという話をされていたと思います。その効果が出ているのかどうか。またさらに何か工夫されていることがあれば教えてください。

中村学校職員課長

見ていただいた方には逆に感想を聞きたいと思うのですが、YouTubeに「先生ってどんな仕事？」というタイトルで、市立工業高校の先生の魅力を発信しています。「講師をさせてもらえませんか」という方が何人か来られているのですが、その方はこのYouTubeを見て来たと言っているのです、ある程度の効果はあるのかなと自分としては思っています。たくさんの方に見ていただいていることは間違いなくと思います。

ですが、引き続き近隣の大学にも毎年行っているのですが、今年も金沢大学は受け入れていただけませんでした。工業系の先生になりたい者がいないというお話でした。これは福井工業大学にしても同じでした。担当は行けずじまいで、予約は取ってあったのですが結局行けていません。引き受けていただいたのは金沢工業大学、富山大学の2校で、「先生になろうと希望している者がいるので、ぜひ来てください」ということでした。工学部系はどうしても民間の就職が好調というか、引く手あまたのところがありまして、先生の魅力を私どもがどんどん伝えていかないといけないのは分かるのですが、なかなか教員のなり手というか、資格を取ろうという方がどんどん減っているように思います。

でも、諦めるわけにもいかず、少しずつ退職はされていきます。たくさんの人を一度に採用するつもりはないのですが、例年工業系で1人なり2人を採用していきますので、来年度は近隣の大学も含めて広報もしていくとともに、本県出身者や市立工業高校の出身者に「ぜひ地元に戻ってこないか」という声掛けをしたり、Uターンの移住者向けの市の窓口等もありますので、いろいろなところに広報活動を広げていきたいと思っています。

櫻吉委員

大変でしょうけれども、引き続きお願いします。

中村学校職員課長

頑張らせていただきます。

田邊委員

ぜひ、募集分野を担当できるような先生をリクルートできればと思うのですが、もし万が一、採用が叶わなかった場合、合格はしても辞退されたり、いろいろなことがあると思うのですが、補充できなかった場合の措置はどのようにお考えでしょうか。

中村学校職員課長

補充できなかった場合は今までも当然起こっていることで、これは小中も同じだと思うのですが、工業系出身者で既に退職されている方や非常勤講師を、縁故を頼っていきながら声をかけて今までも補充しています。少人数で授業を行うことも多いので、少人数の授業の人数を少し増やすとか、市立工業なりのやりくりはしていると聞いていますので、欲しい人間は最低でも私どもも市立工業と協力しながら集めているのが現状です。引き続き、授業に支障のないように探していきたいと思っています。

木村委員

採用予定数が若干名となっていますが、もしかするとこの4名が全て素晴らしい人であれば全員採用ということになりますか。

中村学校職員課長

大変難しいご質問なのですが、若干名と書いてあるのは人数を書けないところが事情としてあります。4名が非常に優秀であれば採りたいことは採りたいのですが、自分たちとしては最大の採用数は決めてあるので、全員が優秀であっても順番を付けて落とさなければならないという現実はあると思います。でも、その方々が優秀であれば、来年度もぜひ受けてほしいという話は試験が終わった後に必ずしていますし、講師をしていたかどうかは、2次試験までいけば皆さんにお知らせしています。こちらから全員合格というわけにはなかなかいかない現実もありますけれども、特に若い方であれば何回かチャンスはありますので。

木村委員

そうすると、狭き門なのですね。

中村学校職員課長

本当に4人が優秀であつたら私は最高にうれしいのですが。そうなることを私も期待しています。

| | |
|----------|---|
| 野口教育長 | 今週の土曜日が試験日になっていますので、本当に良い指導者が採れるといいなと思います。申込者数がもっともって増えて、選ぶことができればいいと思うのですが、今ほど説明があったとおり、受け入れてくれない大学があるという現状を踏まえると、どこかで開拓していかないといけないなと思います。ちなみに大原などには行ったことはありますか。 |
| 中村学校職員課長 | 専門学校ですか。私は行ったことがないです。 |
| 野口教育長 | 公務員コースがあって、教員希望者のコースもあるのです。大学を卒業して、そこに通っている方がいらっしゃるの、希望者がいる可能性があります。このお話を聞きながらふと思ったので、頭の片隅にでも置いておいていただければと思います。 |

○ 報告第21号 金沢市立学校における新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について（学校指導課）

（説明の概要）議案書8ページ。5月の1カ月間で陽性となった児童生徒数は計835人であった。内訳は、学級閉鎖等の措置実施を行い、学校名を公表した小学校が1校、その際2人を報告している。中学校は1校、その際1人と報告している。特段の措置を行わないため学校名を公表しなかったものが832人となっている。

6月においては、昨日28日現在で学校名を公表した小学校は2校、その際19人が合計として報告されている。その他、特段の措置を行わないため学校名を公表しなかったものは314人で、計333人が6月28日現在の数字となっている。4月に比べると5月は感染者数が増加しているが、5月中旬をピークに減少傾向が見られ、今後の動向については注意していく必要があるとは思っているが、数としては減少傾向にある。

| | |
|----------|--|
| 長澤委員 | 体育の授業では熱中症対策を優先して、マスクを外すように指導していると聞いたのですが、実際はどのような状況なのでしょう。 |
| 地下学校指導課長 | 委員仰せのとおり、熱中症が命に関わる大変重要な問題であることから、熱中症対策を最優先した対応をするようにと国、県から通知を頂いており、市からも通知しているところです。その中で、「体育の授業、運動部の活動中、登下校についてはマスクを外すよう指導すること」という形で、今までは「外してよい」という表現だった部分が「外すよう指導すること」という形で各校指導しています。 体育の授業に関しては、このことが最初に通知されたのは5月下旬でした。それ以降、金沢市教育委員会からも3度通知を行っているのですが、当初は体育の授業でも、まだ気温がそれほど上がっていなかったこともあって、学校訪問をするとマスクを着けたまま授業をしている様子が見られました。ただ、ここへ来て、繰り返し報道等もされていますし、通知もしている中で学校も指導を幾度となく行っているほか、気温の上昇もあって、今週学校訪問をした際には体育の授業でのマスクはほとんど外されているという状況でした。そのような中で子どもたちは、マスクを外すことに慣れていないという状況が当初は見られましたが、今は学校の指導の中でマスクは外されるようになってきていると認識しています。 |

○ 報告第22号 金沢市家庭教育推進プログラムの策定について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書10ページ。現行の「金沢市家庭教育推進プログラム」の期間満了に伴い、昨年度、金沢市家庭教育推進懇話会において新たな家庭教育推進の方策について検討し、その結果に関する提言書を頂いた。このたび、提言に基づく施策・事業を体系化した新たな「金沢市家庭教育推進プログラム」を策定したので報告する。

新プログラムの重点として、「乳幼児期からの切れ目のない家庭教育支援」「多忙な保護者への効果的なアプローチ」「家庭でのデジタル機器の適正な使い方」の3点を掲げ、それらの重点に対応した主な方策として、施策を推進していく三つの柱を「学ぶ」「広がる」「つながる」に体系化し、それぞれの柱ごとに掲げている。今回、6月定例月議会において予算が認められた新規事業を含めて各種事業を展開していく。今後5年間、この新しいプログラムにより家庭教育の推進を図る。

| | |
|----------|--|
| 長澤委員 | 基本的なことを教えていただきたいのですが、「金沢子どもを育む行動計画」と「金沢市家庭教育推進プログラム」との関係や位置付けについて教えてください。 |
| 安宅生涯学習課長 | 「金沢子どもを育む行動計画」は本当に大きくくりであり、その中に「子ども条例」にある家庭の責務があります。その家庭の責務に対して、私どもで策定した家庭教育に関する指針、「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」というものがあり、それをどういうふうに浸透・実践していくかというのが、推進プログラムという形になります。ですので、もちろん行動計画は新しく見直しますが、家庭教育推進プログラムは今年度から始まりますので、当然、行動計画の中に取り込んでいく形にはしたいと思っています。 |
| 長澤委員 | そうすると、行動計画の策定と同時並行的に、内容を擦り合わせながら双方で新しいものが出来上がっていくという理解でよろしいですか。 |
| 安宅生涯学習課長 | 先ほども少しお話がありましたが、昨年度既に家庭教育に関する保護者の意識調査を行っています。それに合わせた形で、今の社会情勢の変化に伴ったものとして家庭教育推進プログラムを立ち上げておりますので、このままのものをできれば行動計画に取り込んでいく形がイメージとしてはあります。 |
| 長澤委員 | 推進プログラムとして出来上がっている内容が行動計画にも反映されていくという位置付けでよろしいですか。 |
| 安宅生涯学習課長 | はい。 |
| 長澤委員 | 分かりました。ありがとうございます。 |
| 木村委員 | 「主な方策」の「学ぶ」の2番目に「家庭版『親の学び場』の開催」とあるのですが、今まで社会状況を見ていますと、親の方が問題があるのではないかと思うようなことがいろいろあります。この「親の学び場」の開催について教えていただけませんか。 |
| 安宅生涯学習課長 | 実は、昨年度までは「家庭教育学級」という名前で実施していました。各学校あるいは幼児教育施設の保護者会で家庭教育に関するセミナーを委託してきました。しかし、保護者の方にとっては家庭教育学級という名前が非常に堅苦しく、難しいことをやらなければならないと思っている方も多くいらっしゃったので、今回親しみやすい名前に変えました。 中身に関しては、今までは家庭教育学級を4回以上開催しないとこの事業の支払いはしないこととしていましたが、コロナ禍でなかなか4回も開催できないのもうやめますという話を聞き、こういうことはできるだけ地域の方でやっていただきたいという思いもありますので、2回、4回、6回以上という形で、回数によって委託料を少し変えるという改正を今回させていただきました。 |

木村委員

誰か講師を呼ぶということですか。

安宅生涯学習課長

そういうこともありますし、保護者同士の勉強会やワーキングなどで使
っていただいても構いません。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 署 名

教 育 委 員 署 名

(長澤委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 報告第 23 号 金沢子どもを育む行動推進委員会委員の委嘱等について（教育総務課）

審議結果については次ページ

金沢子どもを育む行動推進委員会委員の委嘱等について

子どもの幸せと健やかな成長を図るための社会の役割に関する条例第17条の規定により、金沢子どもを育む行動推進委員会委員を委嘱及び任命するので、次のとおり報告します。

委嘱及び任命する委員

| 委員名 | 所属団体等 |
|-----------|---------------------------------|
| 家庭 | |
| 相羽 大輔 | 金沢市PTA協議会 会長 |
| 稲荷 ゆかり | 金沢市民生委員児童委員協議会 主任児童委員連絡会 副会長 |
| 河合 美枝 | 石川県私立幼稚園協会金沢支部 事務長 |
| 縄 寛敏 | 金沢市子ども会連合会 会長 |
| 水島 栄美子 | NPO 法人子育て支援はぐはぐ そのままいいよ 理事長 |
| 宮崎 恭子 | 金沢市児童館児童厚生員会 会長 |
| 地域 | |
| 上田 久美子 | 金沢市校下婦人会連絡協議会 副会長 |
| 上田 幸男 | 金沢市町会連合会 副会長 |
| 喜楽 万里子 | 金沢市放課後児童クラブ協議会 理事 |
| 澤田 喬 | 金沢市スポーツ協会 副理事長 |
| 高木 眞理子 | 子ども夢フォーラム 代表 |
| 南野 弘一 | 金沢市子ども見守りボランティア協議会 理事 |
| 本谷 悦子 | 金沢市公民館連合会 副会長 |
| 山本 由美 | みらい子育てネット 金沢市地域活動連絡協議会 会長 |
| 六角 康成 | 金沢市社会福祉協議会保育部会 副部会長 |

| 委員名 | 所属団体等 |
|-----------|---|
| 企業 | |
| 青岸 貴昭 | (株)北國フィナンシャルホールディングス 人材開発部人材開発グループ グループ長 |
| 厚見 行正 | 公益社団法人金沢青年会議所 副理事長 |
| 坂本 修一 | 連合石川かなざわ地域協議会 事務局長 |
| 水野 聡 | NPO 法人かなざわ総合スポーツクラブ 理事長 |
| 八木 圭一朗 | 金沢商工会議所中小企業委員会 副委員長 |
| 学校 | |
| 寺井 義春 | 金沢市立小学校長会 会長 |
| 中村 由恵 | 金沢市立中学校長会 副会長 |
| 学識 | |
| 加藤 隆弘 | 金沢大学人間社会学域学校教育系 准教授 |
| 公募 | |
| 上西 浩美 | 金沢市立北鳴中学校地域学校協働活動 地域コーディネーター |
| 宇野 典子 | NPO 法人ウィメンズ・エンパワーメント 金沢プロジェクト 理事 |

委員 25 名 男性 13 名 女性 12 名（50 音順：敬称略）

任期：令和4年7月1日から令和6年6月30日まで

理由：任期満了に伴い、新たに委嘱及び任命